

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		岩瀬体育館管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続		継続	
						単独/補助		単独	
政策体系		政策体系上の位置付け				主要事業		対象外	
総合計画の施策名		0304 生涯スポーツ活動の振興				市長マニフェスト		対象外	
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				未来PJ事業		対象外	
施策名		04 生涯スポーツ活動の振興				合併建設計画事業		対象外	
基本事業名		02 スポーツ施設の充実と有効利用							
		財務会計上の位置付け				事業期間		事務事業No. 030402000078	
予算科目		一般会計				単年度繰返し (平成6年度~)		090501	
会計		体育館管理事業(岩)				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		スポーツ振興課	
款								グループ スポーツ振興G	
項									
目									
事業									
細									
01									
10									
06									
02									
01									
00									
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像) (設置の目的) 市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツの振興を図るための体育施設として、市が管理運営する事業である。 (施設の概要) ①所在地 桜川市岩瀬2685-14 ②延床面積 3,700㎡(アリーナ・トレーニングルーム・ステージ・放送室・ランニングコース・観客席・ミーティングルーム) ③開館時間 午前9時から午後9時30分まで ④休館日 (1)毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあつてはその直後の休日でない日) (2)12月29日から翌年1月3日まで	②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (事務事業の手段) 職員5名、再任用職員1名、臨時職員1名(5名採用)が従事している。 ①体育館の貸し出し業務・・・利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で使用する事ができる。利用者からは使用料金を徴収している(減免の制度適用有り)。 ②体育館の維持管理・・・維持管理のための保守点検等の委託契約、施設の不具合・故障箇所の修繕等、安全管理を行い、施設の利用者が安心して利用できる環境をつくる。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
①体育館の貸し出し業務 ②体育館の維持管理	保守点検回数(委託含)	回	223.00	223.00	223.00	223.00	223.00
	利用可能日数	日	309.00	310.00	310.00	310.00	310.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市民	人口(常住人口)	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
体育館を利用してスポーツを楽しんでもらう。	年間利用者数	人	60,717.00	58,786.00	60,000.00	60,000.00	60,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	3,249	3,658	3,200	3,200
		その他	千円	177	177	53,032	202
		一般財源	千円	36,015	39,452	64,500	33,098
	事業費計(A)	千円	39,441	43,287	120,732	36,500	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	2,596.05	3,047.00	3,000.00	3,000.00	
	人件費計(B)	千円	7,531	8,839	8,703	8,703	
トータルコスト(A)+(B)		千円	46,972	52,126	129,435	45,203	45,374

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	01 報酬	5,712		01 報酬	6,240	
	08 報償費	60		09 旅費	138	
	09 旅費	97		11 需用費	20,923	
	11 需用費	18,820		12 役務費	396	
	12 役務費	197		13 委託料	6,591	
	13 委託料	7,187		14 使用料及び賃借料	2,135	
	14 使用料及び賃借料	2,134		15 工事請負費	82,728	
	18 備品購入費	9,080		18 備品購入費	1,566	
			合計	43,287		合計

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度は、メインアリーナの床改修工事を、スポーツ振興くじ(toto)助成を利用した工事を予定している。 事業費: 82,728千円 助成額: 52,830千円以内(2/3) 		

事務事業名	岩瀬体育館管理運営事業	事務事業No.	30402000078	所属課	スポーツ振興課
-------	-------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	岩瀬体育館の建設に伴い、平成6年度から施設の利用が開始された。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	経年使用の為にアリーナ床・既存機器の交換要望多数あり
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	施設の老朽化に伴い修繕費や工事請負費が必要であるが予算の獲得が困難であり、国（長寿寿命化計画）等、t o t o事業の補助事業を活用していくこと必要である。
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツの振興を図るための体育施設の管理運営は、市民がスポーツを楽しむことができる機会と場の提供に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	老朽化により修繕箇所が増えているが、必要となる予算の確保が困難である。優先順位をつけた修繕計画をたて、修繕していく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業なし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	平成24年度より機構改革として、スポーツ振興課を真壁庁舎から移動し、平日窓口業務と休館日の清掃業務に携わる臨時職員を2名から1名に削減した。施設の経年使用による修繕費や保守点検委託料などの維持管理費についても削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者負担の原則に基づき、使用料を徴収しているため、公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	岩瀬体育館は、市民のスポーツ活動及び健康増進の拠点施設として活用され、年間延べ5万人を超える利用があるが、平成6年の竣工から23年が経過し、老朽化による修繕等の維持管理に関する費用が増えている状況にある。平成31年度に開催される茨城国体において、チームライフル競技の会場となっているが、老朽化に伴い大規模修繕が必要となっている。																		
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr><th colspan="4">コスト</th></tr> <tr><th></th><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr><th rowspan="3">成果</th><td>向上</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td></tr> </table>	コスト					削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
コスト																			
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
施設の老朽化に伴い修繕費や工事請負費が必要であるが、予算の確保が困難である。29年度にスポーツ振興くじ助成（t o t o）を利用して、メインアリーナ・サブアリーナの床改修工事を予定している。	(6) 事務事業優先度評価結果																		
	成果優先度評価結果 ⑦ コスト削減優先度評価結果 ①																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>